

## 執事按手

あまねく教会の祈祷と立証を求めるため、教区主教が教区内各教会および各教区にあらはじめ公告した日に、早祷が終わってから、主教指名の聖職が執事の職分のこと、その職位の公会に必要なこと、信徒はこれを尊敬すべきこと等を示す説教をする。説教が終わって主教は祭壇に近い座に着く。一人の司祭は正服を着けた志願者を伴い聖所の入口に立って次のように推薦する。

師父よ、この人々を執事（デヤコノ）の職に任ぜんことを願う

主教は言う。

今なんじが推薦する人々は品行正しく学問あり、その職責を尽くして神の栄光をあらわし、聖公会の徳を建つるに適当なりや

司祭は答える。

すでにこの人々のことを調査し、また試験してかくのごとき者なりと思う

次に主教は会衆に言う。

兄弟よ、もしこの人々に著しき罪、または執事とせらるるに故障あることを知る者あらば、いま神の御名によりて申し立つべし

もし著しい罪、または故障があると申し立てる者があれば、その按手を中止して事の明白になるまで待たなければならない。

主教は言う。

我ら執事の職に任ずるに適当と認められるこの人々のために祈るべし

ここで一同黙祷し、嘆願を歌いまたは唱える。主教・司祭・執事のための願いの次に主教は立って左の願いを加える。

主教 願わくは今、執事の職に任ぜらるるこのしもべらを祝し、主の恵みを彼らに注ぎ、その務めを正しく行ないて聖公会の徳を建て、御名の栄光をあらわさせたまわんことを

会衆 主よ、ききたまえ

次に聖餐式を行ない、左の特祷・使徒書・福音書を用いる。

## 特禱

全能の神よ、主はくすしき摂理をもって聖公会のうちに聖職を立て、その位を分かち、また使徒たちを導きて、最初の殉教者ステパノと他の人々を執事の職に選ばしめたまへり。今この職に召されたるしもべらを見そなわしたまわんことをこいねがい奉る。願わくは主の道の真理をもって彼らを満たし、清き生涯をもって彼らを装い、忠実に主に仕え、その教えと行ないとをもって御名の栄光をあらわし、聖公会の徳を建つことをえさせたまえ。父と聖霊とともに世々統べ治めたもう救い主イエス・キリストのいさおによりてこいねがい奉る。アーメン

## 使徒書 テモ前三章八一―一三

または 使六章二―七

ここで主教は座につき、志願者に次のように問う。

主教 なんじらこの職に任ぜられんとするは、聖霊の感化によると信じ、神に仕え、その栄光をあらわし、主の民の徳を建つるためなりとしんずるか  
答 我これを信ず

主教 なんじらこの職に召さるるは、主イエス・キリストの御心にかない、また日本聖公会の律法にかなえりと思ふか  
答 しか思ふ

主教 なんじら聖書は神より与えられ、主イエス・キリストによりて成就されたる神の啓示を我らに伝うるものなりと信ずるか  
答 我これを信ず

主教 なんじら教会に集まる人々に、聖書を熱心に読み聞かすことを努むるか  
答 我これを努む

主教 そもそも執事の職務は礼拝のさい、ことに聖餐を分け与うるとき、司祭を助け、また聖書を読み、少年・少女に公会問答を教え、司祭欠席のとき幼な子に洗礼を施し、主教の許しあらば説教することなどなり。また、病める者・貧しき者・弱き者を尋ね、その住所・姓名・その他の状況を司祭に報告し、会衆および他の人の信施をもって救助にあずからしむることも執事の務めなり。なんじら喜びてこれをなすか  
答 われ神の助けによりてこれをなさん

主教 なんじら慎みておのれと家族との行ないをキリストの道にかなわせ、力の及ぶ限

答 りキリストの群れの良き模範となることを努むるか  
われ神の助けによりてこれを努む

主教 なんじらの上に立てられたる主教と司祭を敬い、これに服し、喜びてその正しき  
勸告に従うか  
答 われ神の助けによりてこれをなさん

主教は立つて言う。

愛する兄弟よ、いま主の公会にて執事の職に召されし主のしもべらを受け、天よりの祝福を与えたまわんことを全能の神に祈るべし

ここで一同ひざまずいて黙禱する。

主教 主なんじらとともにいますことを  
会衆 主なんじの霊とともにいますことを  
主教 なんじら心を挙げよ  
会衆 我ら心を主に挙げん  
主教 主なる神に感謝し奉るべし  
会衆 そは正当にしてなすべきことなり

主教は次の言葉を歌いまたは唱える。

至聖なる父・とこしえにいます全能の神よ、いついずこにても主に感謝し奉るは、正当にしてなすべき務めなり。ことに主は大なるいつくしみによりて、働きびとを刈り入れ場に送り、このしもべらを公会の執事の職に召したまいしことを感謝し、御名をほめ奉る。願わくは聖霊を彼らに満たし、七つの賜物によりて、忠実にその約束を守り、慎みへりくだりて務めをばげみ、謹厳にして清き良心を保たしめ、御子キリストによりて彼らを強めたまわんことを。願わくは栄光世々限りなく父と子と聖霊にあらんことを。  
アーメン

ここで志願者は主教の前にひざまずき、会衆は立つ。主教は両手を各志願者の頭において言う。  
「アーメン」は司式者だけが言う。

父と子と聖霊の御名によりて、神の公会において執事の職を行のう權威をなんじに授く  
アーメン

主教はおのおのに新約聖書を渡して言う。

神の公会において福音を読み、また主教の許しあらば説教する權威をなんじに授く

次に主教の指名した新執事は福音書を読む。

### 福音書 ルカ十二章三五―三八

主教は聖餐式をつづける。新執事は主教とともに聖餐を受ける。  
祝福の前に次の祈りを用いる。

もろもろの良き物を与えたもう全能の神よ、大いなる恵みをもってこのしもべらを受け、  
主の公会の執事の職に用いたもうことを感謝し奉る。願わくは彼ら常に慎みへりくんだり、  
怠りなくその職を行ない、快く公会のおきてに従い、良心の責めなく、御子キリストに  
ありてますます強くなり、正しくこの務めを行のうことを得させたまえ。我らの救い主  
イエスキリストによりてこいねがい奉る。願わくは誉れと栄え、世々限りなくイエス  
キリストにあらんことを。アーメン

主教は正当な理由があるときのほか、新執事が一年以上在職しなければ司  
祭に按手しない。